

箱根組ニュース

第333号 2020年11月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

日本一？のローラー滑り台で遊ぶ！ 秋の山や川、丹波山村の里山は美しかった。

コロナで半年以上、都外への自粛をしていた箱根組も少しだけ東京から出てみました。といっても奥多摩からほんの少し西の山梨県丹波山村の里山ハイキング。

10月になって雨が続けていたが、秋雨の合間の日曜日の日を楽しみました。

10月18日（日）、新宿発午前6時46分発のホリデー快速おくたま1号に乗車。車窓からは青空が見えて期待は膨らむ。

乗り換えなしの快適な電車は奥多摩駅に8時21分着。

降り立ったのは布施、佐藤夫妻、井上夫妻、坂巻、星野（幸）、星野、三田村、奥村、神吉、戸丸の12名

駅前の丹波行きバス停に並びトイレ利用。臨時のバスが2台先に出発したので、丹波行バスは比較的空いていて早めに並んだ我々は全員座ることができた。

8時35分発、バスはどんどん山深く入って行って奥多摩湖を過ぎるとほぼ貸し切り状態で丹波山村の里に入って

ゆく。

9時29分。終点丹波に到着。バス停から少し先に進むと左側に民宿の看板がありこれを左に入ってゆく。お寺の前を右に曲がり緩い坂道を下ってゆく。多摩川の支流の丹波川に出る。

雲取山と大菩薩嶺に挟まれたこの村はとても奥深いが、この辺りは割と川幅が広いのが意外だ。

9時33分、川沿いの農村公園に到着。青空が広がり紅葉も始まっている。空気が澄んでいてとても気持ちがいい。

ここで自己紹介とストレッチをする。合唱団で体操係もしている井上さんのしつかりとした指導で体をほぐす。

9時58分、出発。まずは少し戻ってつり橋の通称メロディー橋を渡る。しかしメロディーは流れなかった。河川敷は工事途中のようで重機と砂利が目立っていたがそれでも周囲の景色は素晴らしい。

橋を渡り右に回る。村営釣り場で川釣りや、池釣りができる。釣り堀で子供たちが釣っている。ニジマスだろうか？



三角屋根の洒落たレストラン？もある。手打ちそばうどんの幟が揺れている。右に回り込んで茅葺の門をくぐると河川敷に出る。これを下流に歩いて行く。右側にはいくつも川釣り用の池が並んでいる。これは貸し切りができるらしい。釣られなかった魚の姿も見えた。河川敷の工事はまだ何か施設ができるのかもしれない。

吊り橋をくぐり河川敷の中を下ってゆく。工事用と思われる広い道をどんどん進むと右の車道に出られるかと思っただけで止まり。少し戻ってテニスコートのところまで左に曲がり突き当りを左で川とお別れし車道に出る。車道は少し上り坂になり右に曲がってゆく。

現在の収支	21438 円
繰越	
支出	
下見交通費	2200 円
HP 作成費	500 円
プリント代	100 円
現在高	18638 円

切手残数	
84 円切手	116 枚
40 円切手	131 枚

10時35分、右に鋭角に戻るように坂道がついていく。少し上ると平坦になり畑の中の道だ。左に曲がり目の雨を見る。とお城が見える。実はこれがローラー滑り

台の出発地点のお城の形の展望台。

10時44分、右に大六天神社。木の鳥居の奥に小さな祠がある。

突き当りの広い車道を右に上ってゆく。すぐ右は郷土資料館。左側にローラー滑り台の幟が見えてくる。

10時55分、ローラー滑り台到着。下にあるトイレのシャッターを開けてもらいたい休憩。利用料を400円支払い。係のおじさんの説明を聞いてボードと軍手を渡される。

さあ。何回滑っても料金は一緒だ。全長247m、高低差43mのローラー滑り台を楽しむ。

出発点のお城の展望台に上ってぐると景色を堪能する。眼下の村がよく見える。歩いてきた河原、これから行く道の駅下の河原のあたりも見える。

最初は様子見、一人で滑る。次は3人4人でボードを重ねてつなげて連弾？ 人数

11月15日(日) 高水三山に行きます。

(高水山759m) 岩茸石山(793m) 惣岳山(756m)

レギュラーコース 歩行 約4時間

※電車バス内、混雑時はマスクを使用しましょう。

青梅線軍畑駅から歩き、まずは高水山を目指します。尾根を歩いて眺望のいい岩茸石山へ、ここで昼食、惣岳山から沢井に降ります、時間があれば澤乃井による計画。

○持ち物 お弁当、飲料水、マスク(予備マスク)、傘、雨具、スパッツ、非常食、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは 11月13日(金) までに

集合 11月15日(日) JR東京駅(2番線)
6:03 発 中央特快 高尾行き
(前から3両目車内)

途中駅発

神田 6:05 御茶ノ水 6:07 四谷 6:12
新宿 6:17 (12番線) 中野 6:22
三鷹 6:30 国分寺 6:37
立川着 6:43 (青梅線乗り換え)
立川発 6:52 青梅行き
青梅 7:30 (乗り換え) 軍畑着 7:51

交通費 東京～軍畑 1100 円
沢井～東京 1100 円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi

が増えると重力でスピードも増す。とはいえ安全にできていて3か所くらいでは止まってしまい、漕がないと進まない。反対に3か所くらいはかなりの迫力のスピードが出る。ゴールでは勢いでボードが下のマットと一緒にずれてしまうほどだ。しかし高低差43メートルは自力で登らなければならぬ。これがなかなかいい運動だ。平均3回ほどは滑ったろうか。5回滑った人もいるらしい。

12時、記念撮影をして昼食会場の河原に向かう。畑には猿除け?の金網が高く設置してあって上部は電流が流れているようだ。バチバチと音がする。畑の間を縫って右に左に迂回しながら進み、集落の家の間を右に降りると日帰り温泉の「のめ



こい湯」に到着。ここを通り過ぎると河原だ。吊り橋を渡るとすぐ上に建物が見える。「道の駅たばやま」だ。



12時半、河原にソーシャルディスタンスで陣取る。ビールで乾杯し、焼酎、日本酒、梅酒も出る。長ネギ、豚肉、お麴入りのシンプル豚汁も出来上がり宴会は盛り上がる。持ち寄りのごちそうもいつも通り豪華だ。
シュガーが4人揃っているのので食後のミニ演奏会。ちよつと練習をしながら5曲ほど演奏する。思ったよりうまくいったようだ。

2時半頃、一人二人と片付け始めて、すぐ上の道の駅に向かう。道の駅にはそれほど多くのものはなかったが、それでも地の野菜などが並んでいた。外で休憩していた皆さんにちよつと収穫したアケビを試食してもらったがたまたまだろうがそれほどおいしくはなかった。
3時半頃、すぐ上のバス停に向かう。
3時47分のバスに乗り奥多摩駅に向かう。これを逃すと6時過ぎまでバスはない。

奥多摩に着いてすぐにホリデー快速東京行きに乗ることができたのは幸運。車内では熟睡だった。
楽しい秋の日だった。



